

## 平成30年度事業計画

### 概 要

平成29年度の日本経済は、個人消費と設備投資を中心とした内需主導の景気回復が続く展開を見込んでいる。また、平成30年度も内需主導の景気回復基調が続くものと見込まれている。一方、新潟県内の経済情勢は、個人消費や生産活動が緩やかに回復し、雇用情勢が改善しているが、人手不足感が強まっている。

そのような中であって、当シルバー人材センターの平成29年度12月末現在の事業実績は、請負委任においては前年同月比△11,039千円の40,429千円、派遣では前年同月比6,601千円増加の8,219千円となり、請負委任と派遣の合計で48,648千円を計上したが、前年比△4,438千円となった。その要因は、平成28年9月末で請負契約による公共の自動車運転業務の契約打ち切りが大きく影響している。また、適正就業の観点から請負から派遣に切り換えを推進した結果、請負委任において大幅な前年同月比割れとなった。

一方、平成29年度は「中期3ヶ年計画」の最終年を迎えています。基盤拡大の推進においては「会員の増強」が一進一退の状況が続いています。また、安全就業においては、講習会等を通じて「安全第一」最優先を掲げ、会員及び役職員の安全意識高揚を図ってきましたが、重篤事故が1件発生しました。

このような状況を踏まえた平成30年度は「第2次中期3ヶ年計画」の初年度であり、山積する諸課題に積極的に取り組んで行かなければなりません。

具体的には、「会員の増強」「就業開拓」「後継者の育成」「組織の活性化」は従来にも増して喫緊の重要課題であり、会員はじめ役職員一人ひとりの積極的な行動が求められます。

また、それぞれの立場において「意識改革」を行い、現状を見つめながら組織の活性化に向け、地道な活動を展開しなければなりません。

会員をはじめとする組織の一人ひとりが「意思疎通」を図り、阿賀町をはじめ関係機関さらには町民各位のご理解、ご支援をいただきながら、お客様から信頼される仕事ぶりで、地域社会に貢献してまいります。

## <基本方針>

- 1 組織体制の充実と強化
- 2 安全就業と健康管理の徹底
- 3 普及啓発活動の推進
- 4 就業開拓の強化
- 5 就業に関する技術・技能・知識の習得
- 6 適正就業の徹底
- 7 会員相互の交流活動の推進
- 8 事務局体制の整備
- 9 関係機関との連携強化

## <実施計画>

- 1 組織活動の充実・強化
  - (1) 理事会・班長会議・地域懇談会等の一層の充実により、センター全体の活性化に努めると共に理事会・事務局・地域班等の連携を強化する。
  - (2) 各委員会活動を見直し機能化を図る。
  - (3) 会員の資質の向上。
- 2 安全就業と健康管理の徹底
  - (1) 就業にあたっては「安全第一」を心がけ、事故防止のため「安全就業基準」「適正就業基準」の周知徹底を図る。
  - (2) 就業途上等の交通事故の防止。
  - (3) 安全に関する講習会等の開催により安全意識の高揚を図る。
    - ・安全大会
    - ・作業用機械安全取扱講習
    - ・普通救急救命講習
    - ・冬季安全就業講習
    - ・運転業務就業のための講習
    - ・その他の講習会
  - (4) 会員各自が病気やけがに注意し体調維持に努めると共に、年1回健康診断を受けることを奨励する。
- 3 普及啓発活動の推進
  - (1) 会員による口コミ活動を展開する。
  - (2) 会員強化地域を設定しチラシ等の配布を行う。
  - (3) 誠意ある、丁寧な就業によりイメージアップを図る。
  - (4) ボランティア活動（環境整備等）を実施する。

#### 4 就業開拓の強化

- (1) 会員による口コミ活動を展開する。
- (2) 効果的なチラシ配布を実施する。
- (3) 役職員による地域内事業所等への訪問による啓発活動の展開。
- (4) シルバー派遣事業の推進。
- (5) 有料職業紹介事業の活用。

#### 5 就業に関する技術・技能・知識の習得。

- (1) 先輩会員による後継者の育成活動の展開。
- (2) 会員の就業に繋がる技術・技能・知識の向上を図るため次の講習会を行う。
  - ☆ 庭木の剪定講習
  - ☆ 庭木の雪囲い講習
  - ☆ 作業用機械安全取扱講習
  - ☆ 襖・障子張り講習

#### 6 適正就業の推進

- (1) 長期就業を回避するためローテーション就業の徹底を図る。
- (2) 就業機会の公平化を図る。
- (3) 未就業会員の解消に努める。
- (4) シルバー派遣事業及び有料職業紹介事業の普及啓発活動の展開。

#### 7 会員の福利厚生（交流活動）

- ※ 会員の相互理解と就業意欲の向上を図るため次の活動行う。
  - ☆ 会員親睦旅行
  - ☆ 会員新年交流会
  - ☆ 他センターの活動情報の提供に努めると共に、リーダー育成に努める
  - ☆ その他自主的交流活動

#### 8 事務局体制の整備

- (1) 職員の事務分掌を整理し、事務処理能力の共有化、互換性を高め企画力、判断力の向上を図る。
- (2) 事務の効率化、簡素化を図り、正確な事務処理に努める。
- (3) 予算の執行にあたり経費節減に努める。

#### 9 関係機関との連携強化

- (1) 地元自治体（阿賀町）との情報交換、連携に努める。
- (2) 新潟県シルバー人材センター連合会および県内外の活動拠点等との情報交換、連携を図り健全なる事業の発展に努める。